

野沢温泉学園

地域支援センターだより 第4号

令和5年7月11日 発行：野沢温泉学園地域支援センター

野沢温泉学園の「地域につくられた応援団」、野沢温泉学園地域支援センターは、今年度も学園の教育活動が一層充実することを願って活動しています。また、支援するみなさんを中心に村の大人達が学園の子ども達を真ん中に共に活動する中で、子どもも大人も笑顔になること、繋がりが合ってより元気になることも支援センターの願いです。このお便りでその姿をお伝えしていきます。どうぞよろしくお願い致します！

「のざわの時間」(小学校クラブ活動)

「今日はクラブがあるからとても楽しみ。」「今日のクラブでこれ作ったよ。」小学校では、クラブのある木曜日にこんな声が響いています。今年の「のざわの時間」は子ども達の希望に応じて、「写真」「リズムダンス」「バルーンアート」「ニュースポーツ」「ペーパークラフト」「木工工作」「生け花」の8つのクラブが開設されました。講師はもちろん、村の支援ボランティアの方々です。どのクラブでも4～6年の子ども達が、和やかな雰囲気の中で生き生きと活動しています。また、みんなで協力し合って率先して準備や片付けをする姿はやる気に満ちていて、とても頼もしく感じました。



バルーンアートクラブ：講師の手元を見ながらひねってねじって。形が出来上がってくるのが楽しい！



生け花クラブ：自生している季節の花材を講師が用意して下さいます。子どもたちの瑞々しい感性に感動！



折り紙クラブ：この日はネコに挑戦！同じ折り方でも表情に個性が出るところがなんとも素敵です。

「つる細工を御宿へ」(中学1・2年生総合的な学習の時間)



千葉県御宿中学校との海と山の子交流は、新型コロナで延期した学年があった関係で、今年は中学1年生と2年生の二学年が合同で御宿町に行く予定です。オンラインで交流を始めている生徒たちは、自分たちで作ったつる細工をお土産にしたいと考え、6月23日に上野博文さんご家族においでいただきました。最初に、あけびづる細工が村の産業を支えてきた歴史をお話いただき、いよいよ製作。初めてつる細工に挑戦する生徒にも丁寧に教えていただきました。中には、手慣れた手つきで上手に作っていく生徒たちもいてびっくり。聞く

千葉県御宿中学校との海と山の子交流は、新型コロナで延期した学年があった関係で、今年は中学1年生と2年生の二学年が合同で御宿町に行く予定です。オンラインで交流を始めている生徒たちは、自分たちで作ったつる細工をお土産にしたいと考え、6月23日に上野博文さんご家族においでいただきました。最初に、あけびづる細工が村の産業を支えてきた歴史をお話いただき、いよいよ製作。初めてつる細工に挑戦する生徒にも丁寧に教えていただきました。中には、手慣れた手つきで上手に作っていく生徒たちもいてびっくり。聞く



と、小学校のクラブや遊友クラブでよく作っていたとか。つる細工が村の子ども達の中にも息づいていることを感じました。上野さんたちのお力も借りて、御宿の生徒数分70個余りの素敵なかごが出来上がりました。生徒たちの思いや野沢温泉の歴史をのせたかご。きっと喜んでもらえることでしょう。



「What's the reason to come to Nozawaonsen?

（野沢温泉村に来た理由は何ですか）（小学6年生総合的な学習の時間）

野沢温泉村の魅力について調べ学習を進めてきた6年生。「外国から村に移住してきた人たちが他にも温泉やスキーの観光地がある中で、野沢温泉を選んだ理由は何だろう」と考えるようになりました。6月、保護者で支援ボランティアのクリスさんを中心に、外国から移住してきた方々に学校に来ていただき、英語で質問をしました。「野沢温泉に来た理由は何ですか?」「雪と山、温泉、そしてコミュニティです。コミュニティってわかりますか。つながり、関係、日本語で『絆』とも言います」「野沢温泉に来た時の印象は?」「水です。いたるところに水が流れていることがとても印象的でした。」また、「野沢に来て後悔したことはありますか」の質問には、3人とも「Never.全くないです」。やり取りの中で「あー」「イエーイ」と共感の声が上がったり、「How about you?(あなたは どうですか)」と聞き返され、知っている英語や日本語で一生懸命答えたりする姿もありました。立場が異なる方のお話をお聞きすると、見方や考え方が広がります。野沢温泉の魅力や好きな外湯、食べ物の他に、少し不便だと思えることも話していただきました。6年生には難しい英語もあったかもしれませんが、自分たちの住む村のよさや大事にしたいこと、課題を様々な角度から考える貴重な機会となりました。



「家庭科ボランティア」(小学校5, 6年)

昨年秋に初めて来ていただいた支援ボランティアさん達が、今年は5月から裁縫の授業を支援してくださっています。ミシンは、使い方を理解してもなかなか思うように作業が進まないこともしばしば。「先生、助けてくださいーい。」子ども達から声がかかります。子どもにとっても、専科教諭にとっても、なくてはならない存在になっています。



(文責 藤村)

支援センターからお知らせ

・8月8日(火)に「リアルなざわの時間」を開催します！小学校「のざわの時間」のクラブの内容を体験することができます。村にお住まいの大人も子どもも参加できます。いきいき大学の土雛絵付け体験講座も共催です。詳しくは広報6月号のチラシをご覧ください、公民館あるいは下記連絡先に申し込んでください。

・野沢温泉学園(こども園・小中学校)の支援ボランティアを随時募集しています。合言葉は「できることをできるときに」「楽しみながら」です。興味関心のある方は、下記までお問い合わせください。

支援内容: 校外活動・散策付き添い、家庭科のミシン・裁縫支援、図画工作の学習支援 等

連絡先: 野沢温泉学園地域支援ボランティアセンター(野沢温泉村教育委員会内)

担当: 藤村 TEL:85-3115